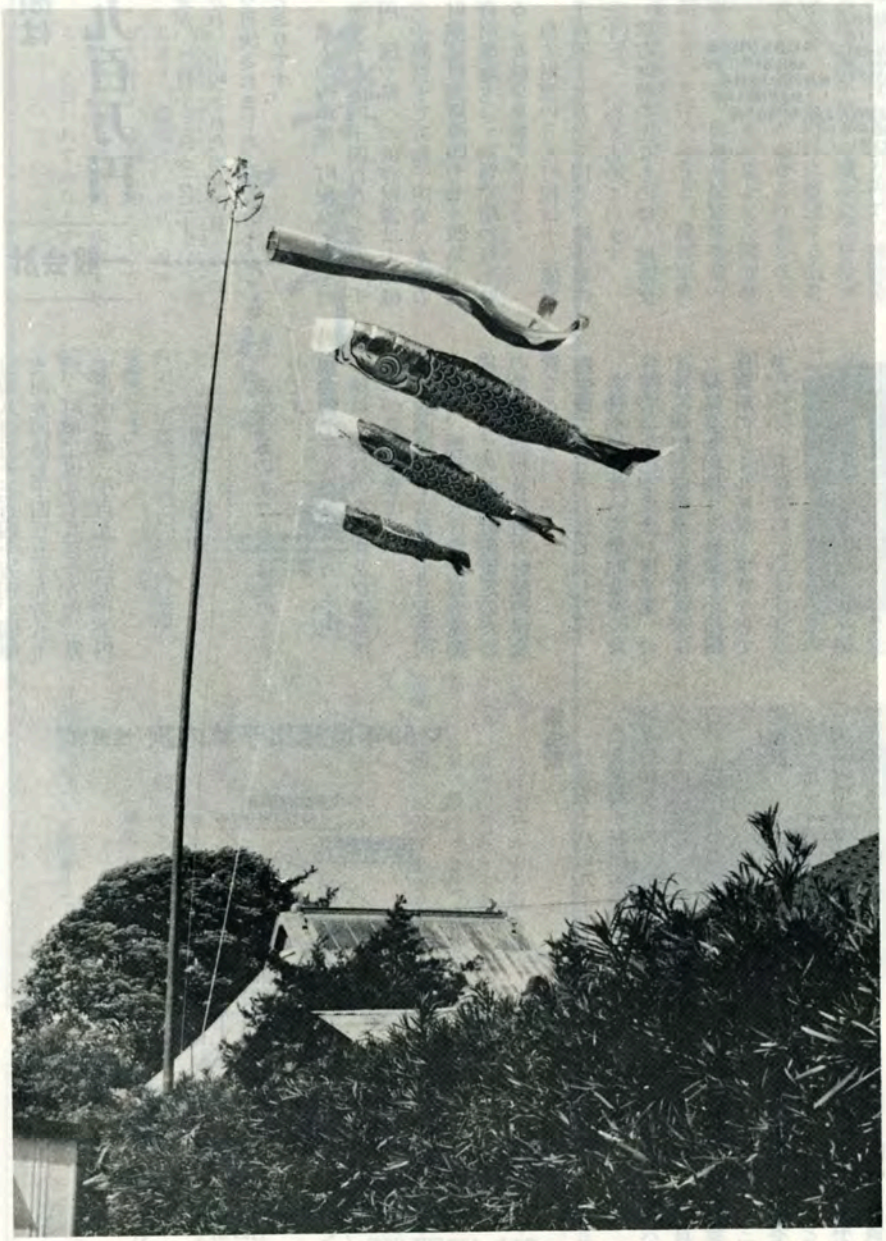
広報 かじき
No.355 昭和59年 5月号
発行 加治木町
編集 総務課



大空に遊ぶこいのぼり（田中の大園さん宅）

こいのぼり

五月五日の節句には、男の子の数だけこいのぼりを揚げる――中国では、竜門（黄河の上流にある）を登ることのできたこいは竜になるといわれ、立身出世のシンボルとされています。

日本では、江戸中期から今日のようなこいのぼりを飾る風習がでてきたようです。

こいのぼりがさわやかな風になびく五月は、地上では「自転車月間」です。

この機会に、正しい自転車の乗り方や、交通ルールを身につけましょう。

◆人口22,769人（－305）男10,722人（－162）女12,047人（－143）世帯数7,740（－46）59.4.1現在（　）前月比

五十九年度当初予算額は
三十六億七千九百万円

一般会計

五十九年度第一回定例町議会が、三月十二日から三十日までの十九日間の会期で開かれ、上程された当初予算など二十九の議案は原案どおり可決されました。

一般会計予算の概要は次のとおりです。

一般会計は三十六億七千九百万円

一般会計予算額は、三十六億七千九百万円で五十八年度と比較すると二億一千六百万円の減となりました。

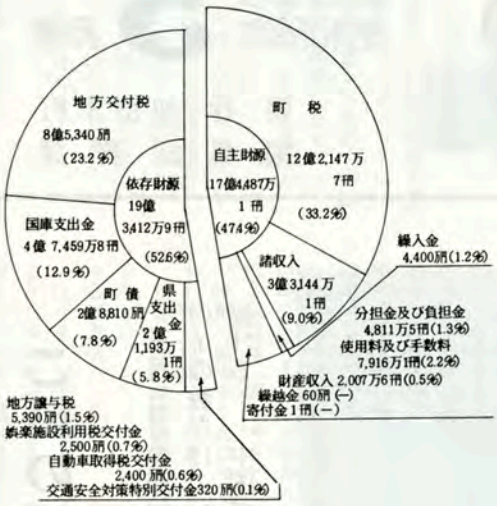
歳入

歳入の内訳は、町税など自主財源が十七億四千四百八十七万一千円、国や県への依存財源は十九億三千四百十二万九千円で、本町の財政は自主財源四十七・四％、依存財源五十二・六％で賄われていることになります。

自主財源のうち町税は十二億二千百四十七万七千円で、総予算の三十三・二％を占めています。

依存財源の主なものは、地方交付税八億五千三百四十万円、国庫支出金四億七千四百五十九万八千円、町債二億八千八百十万円、県支出金二億一千百九十三万一千円などです。

▽59年度歳入予算内訳



歳出

歳出予算の主なものは次のとおりです。

議会費七千九百七十三万一千円

議員、職員の人件費及び議会活動に必要な経費です。

総務費四億三千六百七十万五千円

三役、職員の人件費や総合運動場についての基本計画策定のための設計委託料及び町有財産の保全費などです。

民生費六億五千七百七十七万円

各種福祉団体への補助金や「身体障害者生活圏拡大対策事業」の中から環境整備事業と文化スポーツ研修会を開催する経費、小山田保育所のプール新設工事費などです。

新設される小山田線

衛生費

三億五千八百九十五万六千円

公衆浴場の新館の浴槽の改装と貯湯施設などの工事費や、保健センターの建設費、西部衛生処理組合のし尿、塵芥処理負担金などです。

労働費

一億一千三百九十二万八千円

失業対策事業に必要な就労者の賃金や、道路補修工事などの資材購入費、ダンプ購入費です。

農林水産業費

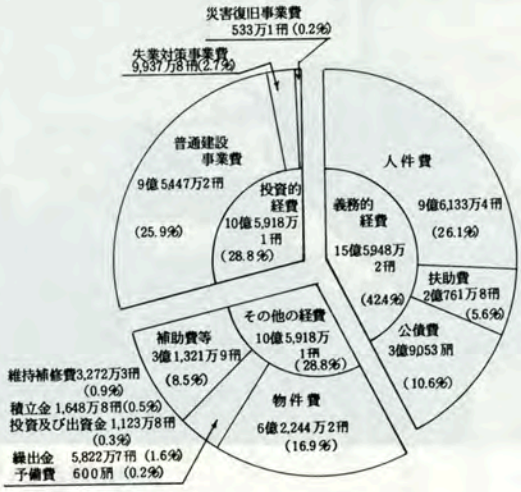
三億二百六十一万七千円

迫地区のほ場整備に要する工事請負費や、辺川上地区ほ場整備及び連絡道の施行に伴う経費、竹林改良事業の工事請負費などです。

商工費二千百四十万八千円

商工会育成補助や、町道路傍植栽管理委託料、町観光協会への補助金などです。

▽59年度歳出予算内訳（性質別）



土木費

五億五千五百六十五万三千円

小山田線新設改良及び岩原線の工事費や、日木山歩道橋工事請負費、吉原排水路外三か所の排水路改良の経費、木田本通線や仮屋馬場通線の事業費などです。

消防費一億五千二十七万円

西部消防組合の負担金や、非常備消防の消防施設などの整備を図るため、小型動力ポンプ積載車を購入する経費などです。

教育費六億一千円

加治木小学校開設時十二学級を予定しての校舎建設四十パーセント分や、小・中学校及び幼稚園などの管理運営に必要な経費と、社会教育、社会体育に要する経費、学校給食の実施運営に必要な経費です。

行政連絡員に辞令を交付

五十九年度の町行政連絡員、百十四人が決まり、辞令交付式が四月二十六日、福祉センターで行われました。

今年一年間、町政及び自治会発展のため、よろしくお願いします。

城東地区　一一一〇世帯

自治会名	氏名	世帯数
日木山黒川	竹崎 徳人	五一
日木山団地	川俣 操	四三
天神	四元 義雄	一一〇
反土黒川	日高 為夫	七〇
東諏訪	川井田ヨオ子	一三五
西諏訪	伊藤 貞輝	一〇六
吉原	市来原盛五	二二九
東吉原団地	新 時弘	六六
小陣	浜田 忠治	六四
下新道	堀切 利男	一四一
里ノ上	上村 忍	一八
里ノ下	犬童 利春	七七

城南地区　八一〇世帯

新町	別府ユキノ	四八
垂ノ口	瀬戸 淳一	一三三
江湖	金丸 国夫	三〇
今町	竹内 親男	一四二
上浜	松田 繁美	九五
中浜	亀井 政夫	七七
下浜	米良 紀子	一三〇
蒲生田(一)	厚地 一徳	七
蒲生田(二)	四月～九月 蜂須賀正人 十月～三月 田中 明男	一六
西町	尾上 辰二	二五
端山	川原 輝夫	一〇七

城西地区　六六九世帯

柳田	前山トシ子	二一〇
於里	永井 準	一三〇
新富団地	本中野ミキ	四六
田中	櫨山 大平	一九〇
竹下	入部 薫	九三

城北地区　一二六一世帯

西反土前	東脇 正徳	三〇
西反土後	田井 重通	六九
萩原	城 正守	二〇〇
高井田	津崎チエ子	二三三
春日団地	山下 菊男	一二八
城	岩沢 泉	一一
口ノ町	北森 節男	三六
内原田	南薗 義久	一〇六
札立	木村 繁	一四四
川原	福薗 国春	二九
蔵王団地	堀江 東平	二〇三
空港団地	山田 篤	七二

錦江第一地区　一二〇六世帯

向江町	田中 高雄	八五
東塩入	村下 久信	一三五
中塩入	岡山 秀樹	五五
南塩入	小椋 直吉	八六
西塩入上	久保 金蔵	八七
西塩入中	天利 勇	三八
西塩入下	宇都宮 隆	九〇
江口団地	尾所 勝幸	七一
西江口団地	後藤 憲一	一〇四
岩原東	岩元 辰雄	一五六
岩原西	中元カズ子	二九九

錦江第二地区　五七九世帯

浜村	増田 昌弘	一〇七
須崎	宮路 芳彦	二三七
豊町	有馬 純明	一三〇
弥勒	平田 静哉	一〇五

錦江第三地区　六四一世帯

中央	大宮路静妻	五七
小鳥	増田 修	八三
赤坂	山口 洋子	一一〇
新中	戎 博明	五四
原ノ門	原口 一郎	四
楠園	今西 実	九六
中福良東	中森 利男	三三
中福良後	楠元 弘文	五九
上木田	扇薗 正	九五

永原第一地区　二〇一世帯

永原	内村 清盛	六八
丸岡	榎谷 久男	一三
隈原上	堂森セツエ	二九
隈原下	榎谷 秀清	一九
市野々	大山 美良	五
上嶽	久木田政則	二七
下嶽	上村 文男	二八
提水流	川床 利雄	一二

永原第二地区　一四九世帯

菖蒲谷上	外村 初	二一
菖蒲谷下	享保アツ子	四二
桑迫	寺師 純男	二八
曲田	押川 登	一四
桃木野	小川 弘志	二一
東ヒナバ	鹿屋 春雄	九
西ヒナバ	坂元 行春	一四

辺川地区　一〇〇世帯

辺川下	小宮路福吉	四五
辺川中	神園千鶴子	一七
鶴原	向江 透	二六
市野	前村 勝男	一二

竜門東元地区　一七四世帯

布越	緒方 勝也	四〇
井手向	前田 稔	二〇
高崎	吉村 薩志	一二
岩穴口	小竹原久義	一五
徳永	徳永 美彦	一九
小田倉	宮脇 信男	一九
迫上	鮫島 馨	一三
迫下	吉田 登	二五
御狩山	東川内 肇	一一

竜門西元地区　一三五世帯

麓	安田 忠義	一四
毛上	篠崎 秋明	七〇
茶碗屋	芝原 年男	二七
伊部野	日高 功	二四

竜門西浦地区　一三三世帯

石野	石野 キク	一九
鞍掛	田上 之男	一五
永山	川原 忍	一七
下東木	渋谷 親義	一七
上東木	前田 己継	一二
赤谷	山口 純男	一七
西浦西	高崎 末年	三二
地久里	下津佐藤夫	四

竜門東浦地区　一一九世帯

上川内	山下 純男	九
川内	川内 国義	二七
市来原	市来原時夫	四五
新開	松葉瀬 募	一五
宮田ケ平	坂元 政夫	二三

中野地区　一〇七世帯

中野	神田 久志	四〇
楠原	遠矢 光雄	二五
弓削	橋口 弘	九
長谷	冨永 貞己	三三

また、自治会連絡協議会の総会が行われ、会長に増田昌弘さん(浜村)、副会長に伊藤貞輝さん(西諏訪)と松田繁美さん(上浜)が選出されました。

よろしくお願いします

県交通安全協力員に

下小牧さんら３人を委嘱

左から福元さん，下小牧さん，石原さん

五十九年度の県交通安全協力員に、下小牧千春さん(札立)、石原五男さん（上木田)、福元司さん(迫上)の三人が県知事から委嘱され、四月十日町長室で辞令と協力員証の交付が行われました。

交通安全協力員は、町の行う交通安全活動に協力し、街頭立唱指導などに従事されます。

赤ちゃんの成長を祈る

一月おくれのひなまつりが

隈原自治会
楠園自治会

西別府隈原自治会に百年以上も伝承されている月おくれのひなまつり〝ひなじょまつり〟が四月三日行われました。

このまつりは、隈原自治会の女の子たちが「踊れば花じゃ、踊らにゃ損じゃ」と歌いながら、自治会内でこの一年間に女の子が誕生した家を回り、赤ちゃんの健やかな成長を祈る行事です。

今年は、西村たかねさん（加治木中学校三年）を大頭に、榎谷リサちゃん（三歳）ら十四人が晴れ着姿で十軒あまりを回りました。

榎谷秀清さん宅では、昨年十月誕生した寿理ちゃんのために、森木ケサノさん（八二）の三味線と、西村スゲさん（七二）の太鼓に合わせ「踊れば花じゃ　踊らにゃ損じゃ　おげんおっ母はんな　なべもはがまも買ださんじ　こげな事っあめってごわはん　めってごされば体がたまらん」と歌いながら踊りました。

また、木田の楠園にも月おくれのひなまつりが百年以上も伝承されており、四月三日行われました。

この日は、錦江小学校六年の弓場直美さんから幼稚園児までの女の子十九人が「踊りがそけきた宿はどけとるや　宿は下田のオハラハーかど屋敷」と歌いながら自治会内の全家庭を踊って回りました。

六反巧さん宅では、全員で踊った後、学年ごとに練習を積んできた歌や踊りを披露し、二月十四日に誕生した伸彦くんの健やかな成長を祈りました。

踊りを披露（楠園）

ひなじょまつり(隈原)

「愛の募金」から冷蔵庫などが

老人給食グループへ

朝日新聞西部厚生事業団が毎年実施している「歳末助け合い愛の募金」の資金から、冷蔵庫や炊飯器、圧力なべ、ジューサーなどが老人給食ボランティアグループ（松金フヂ子会長、会員二十人）に贈られ、四月二十七日贈呈式が行われました。

老人給食は、町社会福祉協議会が栄養推進員の協力で、町内の七十五歳以上のお年寄りを対象に夕食を作って送り届けているもの。

県共同募金会の荒武藤弥事務局長から品物を受け取った松金会長は「大いに活用し、これからもお年寄りの皆さんにおいしいものを食べさせたい」と大喜びでした。

圧力なべなどを寄贈

ふくしの窓口 ⑭

重度心身障害者の医療費の一部助成

町では、重度心身障害者の健康の保持増進を図るため、障害者の医療に要した費用の自己負担分を助成しています。

まだ「受給資格者の登録」をしていない方は、早目に手続きをしてください。

□対象者

①身体障害者手帳…一級または二級該当者

②知能指数…35以下判定（精神薄弱者）

③身体障害者手帳…三級に該当し、知能指数50以下判定者

□受給資格の登録

対象者または保護者は、医療費助成を受けるための「受給者資格者の登録」が必要です。

□手続き（必要なもの）

保険証、印かん、身体障害者手帳または養育手帳

詳しいことは町福祉課まで。

「文化財保護のために」と

お二人から善意のご寄付

一　町内小山田の故薗田正春氏は永年町文化財保護審議会委員として活躍されましたが、さる二月十日急逝されました。

氏は生前文化財について関心が深く、町文化財保護協力会に加入されたり、子ども会の史跡案内等郷土教育の推進に努力されていました。

このたび氏の意志であったとして、ご遺族から文化財保護の経費の一部にと二万円の浄財を町文化財保護協力会に寄付されました。

二　富士燃料株式会社（本社都城市）加治木営業所（津曲康広所長）は決算期に際して、町内文化財保護の経費の一部にと町文化財保護協力会に十万円の寄付をされました。

町文化財保護協力会（松元忠富会長）ではこの浄財を生かすために、史跡案内説明板や標柱等を立てて善意にこたえたいと話しています。

心配ごと相談

毎週木曜日　午前中
福祉センターで応じています。
お気軽にどうぞ

特大の加治木まんじゅうで歓迎

＝町教職員就任式＝

この春、町内の小・中学校に着任された二十八人の先生がたを歓迎し、激励する教職員就任式（町教育委員会主催）が、四月十一日町福祉センターで行われました。

式では、全員で町民憲章を朗読したあと、乙須初男教育長が「新しい息吹が、古い伝統を持つ加治木に吹き込まれることはよろこばしいことです。教育を楽しむ教師になって欲しい」と、また東國雄町長は「教育に誇りを持つ町として町民が教師のかたがたに期待しているものは大きなものがある。がんばってください」と歓迎と激励のことばを述べました。

このあと、先生方に普通の大きさの約五倍の〝特大加治木まんじゅう〟がふるまわれ、先生方は口一杯にほおばり苦戦しながら、加治木の味をかみしめていました。

新任の先生方は次のとおり。

▽柁城小学校
教諭　田中真一　神山小から
〃　松元綾子　本城小から
〃　下平　譲　大根占小から
〃　江口恵子　野間小から
〃　東太士丸　龍郷小から
〃　柳園敏郎　山川小から
〃　嘉納博和　新規採用
〃　島原英子　〃
〃　丸田豊通　〃

▽錦江小学校
教諭　河野テル子　玉江小から
教諭　上　郁代　別府小から
〃　濱田啓子　蘭牟田小から
〃　笹貫良一　細山田小から
〃　松山知二　新規採用
〃　大保秀樹　〃

▽竜門小学校
教諭　室屋勝男　与路小から
〃　東　照　広木小から
〃　松下和代　国上小から

▽永原小学校
教諭　矢野尚久　上市来小から
〃　大薗智子　伊作田小から
事務職員　鶴宗太郎　新規採用

▽加治木中学校
校長　冨吉次夫　隼人中から
教諭　松田一男　管鈍中から
〃　永吉光信　国分南中から
〃　上村正人　谷山北中から
〃　山内一文　隼人中から
〃　竹井伸一　新規採用
〃　山下恵利子　〃

特大の加治木まんじゅうにびっくり

原口泉氏を迎え文化講演会を

町文化財保護協力会

町文化財保護協力会（松元忠富会長、会員四十五人）では、鹿児島大学助教授原口泉先生を迎き、四月五日町福祉センターで文化講演会を開催しました。

原口先生は「西南戦争における加治木の人たちと二つの伊丹家」と題し、西南戦争の時加治木の人たちはどんな行動様式をとったのか、NHK大河ドラマ「山河燃ゆ」の主人公伊丹明の祖先のことなどを例に引きながら、加治木の人たちの気質について講演され、約三百人の参加者は、熱心に聞き入っていました。

原口先生の講演

郷土探訪 11

精矛神社

精矛神社は、日木山の里にあり、祭神は島津家第十七代大守島津義弘公です。

最初、明治二年島津屋形の一角に建てられていましたが、義弘公三百年祭を記念して、大正七年十月一日に現在地に新しく社殿を造営して現在に至っています。

「精矛」の名は、義弘公の神号「精矛厳建雄命」から取ってあります。

島津義弘は、天文四年（一五三四）に島津貴久の第二子として伊作で生れましたが、その一生は、天文二十二年岩剣城の合戦を初陣として、関ケ原の合戦に至るまで、数十度の戦陣の中で明け暮れていますが、その中でも特に朝鮮の役での武勇や、関ケ原合戦で大阪方に味方し、戦に敗れたが、関ケ原からの決死の脱出は今もって郷土の人々の語り草になっています。

義弘は単に武人だけでなく文政にも意を用い、武将の鑑として尊敬され、薩摩人の精神形成に大きな影響を与えています。

義弘公は、慶長十二年（七十三歳）から元和五年八十五歳で亡くなるまで加治木に住みましたので、加治木とは特別にかかわりが深く、義弘公にまつわるいろいろな物語が伝えられています。義弘公が亡くなった時、側近の士十三人が主君の後を慕って殉死したのは有名です。

義弘公は、加治木で亡くなりましたが、遺体は鹿児島に送られ、福昌寺墓地に埋葬されました。

（筆者　林　力夫）

※次回は「竜門司焼」を紹介します。

弓道教室を開講

町教育委員会主催の弓道教室の開講式が、四月三日町営弓道場で行われ、申し込み者のうち九人が参加しました。

弓道教室は、初心者のかたがたを対象に弓道の楽しさを学んでもらおうと開かれたもので、参加者は早速歩き方などの基本動作から指導を受けていました。

教室は、町弓道部の指導で毎週火曜日に二時間づつ十回の予定で実施されます。

基本動作から練習

Aクラス 竹之内ジャイアンツ Bクラス スネークス が優勝

町春季ナイターソフトボール大会が、四月十四日から町営グラウンドで開催され、Aクラス十一チーム、Bクラス八チームが参加。

四月二十三日に行われた決勝戦の結果は、次のとおりです。

▽Aクラス

竹之内ジャイアンツ	0	11
玉田タイガース	0	1
	0	0
	5	
	2	
	4	

▽Bクラス

スネークス	2	7
セントラル	1	3
	0	
	0	
	0	
	2	
	0	
	0	

Aクラス優勝 竹之内ジャイアンツ

Bクラス優勝 スネークス

青少年の豊かな心を育てよう ⑬

町では、五十七年度から「青少年自立自興運動」モデル地区を指定し、活動を推進してきています。

「自立自興運動」は、次代を担うぬくもりにみちた偉大な郷土鹿児島の創造に、重要な役割を果たす青少年の自立自興の精神をかん養し、健全な育成を図るため、郷土に伝わる教育の伝統と風土を生かし、四つの基本理念による自主的な青少年活動の普及、促進を図ることを目的としています。

四つの基本理念

▽ともに学ぶ
みんなで語り合い、切磋琢磨しながら、自分を高める。
（芋こじ）

▽たくましい心身を養う。
苦しみに耐え、困難にうち克ち、たゆまず前進する勇気を養う。（山坂達者、まけるな）

▽真の友情を培う。
ともに励まし、ともに助け合う、心からの友情を培う。
（仲良くうち交わるべき、弱い者をいじめるな）

▽すなおな心で、けじめのある生活をする。
きまりを守り、すなおな心と日常生活における良い習慣を身につける。
（うそを言うな、悪口を言うな）

地域ぐるみで自立自興運動を推進しよう（その1）

共に学ぶ（自立自興キャンプ）

運動の進め方

◎青少年の相互、自主的な活動を推進しましょう。

現代において青少年の教育・しつけは、学校においては先生、家庭では親の立場からなされていますが、青少年が互いに指導し、また自らも学ぶ、青少年の相互・自主的な活動を行うことによって教育効果を高め、切磋琢磨するなかで自己成長を図りましょう。

◎地域ぐるみで青少年育成を推進しましょう。

現在は、各種の青少年団体があり、地域においてもそれぞれ独自の活動がなされています。

これらの相互連携を強化するとともに、指導者は青少年の自主的活動に対し、自主性を尊重し、地域ぐるみで青少年育成の活動を推進しましょう。

また、地域社会にはそれぞれの気風があり、目に見えない青少年の成長の促進及び教育効果を有する場合がありますので、地域社会においては、良き気風づくりに心がけたいものです。

小山田・中郷地区の集会施設が完成

中郷地区集会施設

小山田の中郷地区（新開自治会十六戸、宮田ケ平自治会二十二戸）では、五十八年三月に県が推進している農村振興運動C型事業の指定を受け「明るく住みよいふれ合いの村づくり」をテーマに、集落の環境整備などを実施していますが、このほど話し合いの場となる待望の集会施設が、三月十二日完成しました。

建設費は五百五万円で、補助金のほか四年前から積み立てを行っており、また町外に居住する出身者からも寄付が寄せられました。

今後、婦人を対象とした調理教室の開催や、農業基盤整備事業の話し合いを行ったりと、農村振興運動推進の拠点として大いに活用されることでしょう。

地区民の協力で公民館が完成

浜村自治会

七年前から積み立てを始め、建設を進めていた浜村自治会（増田昌弘会長、百七戸）の公民館が、四月十五日完成し、落成式が盛大に行われました。

完成した公民館は、木造平屋建かわらぶきの十六坪で、建築費は三百七十五万円です。

浜村公民館は、これまで三回建て替えられており、今回が四回目の建築となりました。

昔は別の場所にあり、倶楽部と呼ばれ、青少年の剣道の練習場として、また勉強会の場として活用されていたそうです。

公民館は、一度におおぜいの人が出入りするため、東側を開けられるようにしてあるなど工夫がこらされています。

これからも子供会の活動や、地域づくりの拠点として大いに活用されることでしょう。

完成した浜村公民館

薬草 知られざる効き目 ⑧

ヨモギ

よもや、ヨモギを知らない方はありますまい。

武の国薩摩では、五月五日男の子の節句に、ショウブとヨモギを家の軒に挿し、武運と健康を祈り、「ふつのだご」をこしらえて祝ってくれました。

これほど身近に多く自生し、親しまれた薬草は少ない。

からからに乾燥し、もみほぐすと綿毛ばかり残るが、これが「もぐさ」で、ご年輩の方には、ひとしお親しまれております。

茎葉とも、春から夏にかけて採取、陰干しにします。これを一回三グラム程、三合の水から半分量に煎じ、一日三回に分服します。腹痛に、かぜ、せき、ぜんそく、腰痛に効くそうで、女性の若返りに卓効、水虫も治る、と言われております。

万葉の長歌の一節に「…ほととぎす、来鳴く五月のあやめ草よもぎかつらぎ…」とあり、冠につけて邪気をはらったものです。

先人達が日常の食生活にとり入れて、子孫のために自らの健康を保ったのです。

秋から冬にかけ、枯れた穂を採り、三倍量の焼ちゅうにつけこむ。三月ほどでかすを取り去ると淡い黄色の芳香ある薬酒が楽しめます。強壮、止血、腰痛、腹痛、痰切りに効があるそうです。

なお、ヨモギの干したのは古いほど良い、とされておりますが、紙袋に保存した方が良いでしょう。

おらが世や
そこらの草も
餅になる　一茶

（筆者　上萩大治）

※無断転載は、ご遠慮ください。

竜門句会

花曇り去りゆく埠頭任終えて　古江　重美
小雨降る古墳に野火の匂ふなり　横山　江南
山幾重阿波も讃岐も花曇り　鶴田　耕
花かげにおさ音ひびく伊予絣　上野　光
花散りて仰ぎし髪を装ふなり　井之上透山
花筏いま満潮をさかのぼる　川崎　黒兎
うららかや水門たたく水の音　柳田　稔
木蓮や白壁しるき大手門　高木　正男
剪定枝焼く桃畑をけぶらせて　能勢真砂子
雪柳夜目にも背戸に仄白し　加藤　白柳
耕して鍬を洗ふや春の水　宮脇　思川

空き缶はクズかごへ

お知らせ

子宮ガン検診の申込みは早目に

町内に居住している三十歳以上の女性の方を対象に、五月三十日から六月二日まで子宮ガン検診を実施します。

まだ申し込みをされていない方は、電話などで役場保健衛生課（電話二―二一一一、内線七八番）まで早目に申込んで下さい。

初級の手話講習会を六月から開催

聴覚障害者などの福祉増進を図り、障害者とのコミュニケーションの円滑化を促進するため、初級の手話講習会を開催します。

受講希望者は、当日会場へおこし下さい。

▽開催日　六月一日から一月二十五日までの毎週金曜日（計三十一回）

▽時　間　十八時三十分から二十時三十分まで

▽会　場　町福祉センター

◎問い合わせ先

役場福祉課（電話二―二一一一内線五一番）

赤十字運動月間　五月一日から三十一日

五月は、赤十字社員増強月間です。

赤十字の精神や、事業の目的を一人でも多くの方にご理解いただき「各戸に一人は赤十字社員」を目標に、運動が展開されます。

社費の納入については、自治会長さんにお願いしますので、よろしくお願いします。

あなたが選ぶふるさとの味覚大募集

九州郵政局では「ふるさとの味覚ベスト20」を募集しています。

これは、生鮮食品、加工品、飲物など地域の特色ある食べ物のなかからふるさとの味覚を一品、はがきでご応募いただき、「各県のふるさとの味覚ベスト10」と「九州のふるさとの味覚ベスト20」を決定するものです。

四月二十日現在の鹿児島県の味自慢ベストIは〝かるかん〟、二位と三位は〝焼ちゅう〟で、本町の味覚「加治木まんじゅう」は、十七位に位置しています。

あなたの県の味自慢をお知らせください。

▽応募方法

はがきに、①県名とその県のふるさとの味覚一点②名前・歳③郵便番号・住所④電話番号を記入のうえ、次のところへご応募下さい。

※はがき一枚に特産品を必ず一点記入してください。

▽宛先　鹿児島中央郵便局

〒890　鹿児島市中央町一番地の二

▽締め切り　五月三十一日（木）

※当日の消印のものまで有効

▽当選者発表　六月中旬ごろ本人へ直接連絡します。

無料人権法律相談

六月一日は、人権擁護委員法が施行された日です。

鹿児島地方法務局加治木支局のほか、次の人権擁護委員が自宅でも相談に応じています。お気軽に御相談下さい。

秘密は固く守られます。

宮城俊治　港町一三一番地一二一（電話三―三七八七）

田中重男　仮屋町六四（電話二―二二六〇）

中摩多美子　反土二七五六（電話二―二七六八）

うぶ声

出生児　保護者　自治会

宮路　尚幸　誠　口ノ町

永野　亮嗣　正人　豊町

寺田　理恵　茂一　蔵王団地

西濱　恵美　春一　中野

山之内　彩　慎一　下浜

山之内　愛　慎一　下浜

入部　友美　洋一　日木山黒川

豊　未来　辰哉　空港団地

東　和宏　和夫　端山

豊村　一樹　一仁　柳田

佐久田磨裕美　裕　空港団地

松元　美樹　武光　春日団地

田中愛加那　正一　蔵王団地

渡邊　圭保　正光　豊町

前田さとみ　忍　蔵王団地

桐山　宗大　正文　反土黒川

山口　大輔　重美　垂ノ口

松尾　嘉宏　実　内原田

山下　智範　孝教　西江口団地

鏡橋奈美江　良治　西江口団地

福留　弘之　和孝　端山

小宮路洋平　忍　西江口団地

猪俣　愛　重博　西諏訪

▽四月二十日までに住民票に記載された分を掲載いたしました。

ご寄付

香典返しのかわりにご寄付をいただきました。厚くお礼申し上げますとともに故人のごめい福をお祈りいたします。（　）内は故人。

＝町社会福祉協議会へ＝

三万円　岩原東　川上俊治（養母スミ九〇）

三万円　西ひなば窪田正広（父武雄八五）

二万円　下嶽　山口正人（父　清九一）

三万円　東塩入　上猶市二（妻ミ子八三）

三万円　菖蒲谷下上村　実（母フミ七八）

一万円　春日団地中附律子（夫末雄三〇）

二万円　長谷　鰺坂茂（母緒方ハツミ七六）

三万円　永原　内村実（妻ユキノ六五）

三万円　田中　村崎正巳（母エダ八二）

二万円　於里　吉福　章（父栄次八〇）

五万円　垂ノ口　坂下フミエ（夫巌六八）

三万円　天神　原田経男（祖母ヒサ九一）

一万五千円　高井田　有馬律子（夫正治三六）

二万円　曲田　岩崎ヒメ（姉ハルエ七〇）

＝町国民年金協議会へ＝

一万円　東塩入　上猶市二（ミ子）

二万円　菖蒲谷下上村　実（フミ）

▽四月二十日までのご寄付を掲載いたしました。

記事訂正とおわび

四月号の十一ページ「潮干狩りが解禁」の記事中誤りがありました。

深くおわびし、次のとおり訂正します。

錦江漁協→錦海漁協